



十代に贈る本

表紙協力:JLC(下野ジュニアリーダーズクラブ)

下野市立図書館のご案内

発行日:令和4年3月

石橋図書館

下野市大松山1-7-3
0285-52-1136

休館日:毎週金曜日(祝日は開館)
年末年始、特別整理期間

国分寺図書館

下野市駅東3-1-19
0285-44-3399

休館日:毎週月曜日(祝日は開館)
年末年始、特別整理期間

南河内図書館

下野市田中681-1
0285-48-2395

休館日:毎週月曜日(祝日は開館)
年末年始、特別整理期間

おすすめ作家
『住野 よる』



青くて痛くて脆い

KADOKAWA

些細なすれ違いから離れてしまった楓と秋好。2人で作った秘密結社サークルをもう一度やり直すために楓が起こした行動とは…。



か「」<「」し「」ご「」と「」

新潮社

人の感情が少しだけわかる特殊能力を持つ男女5人の高校生の日常を描いた青春物語。思春期特有の繊細な心の動きや人間関係に共感必至です。



また、同じ夢を見ていた

双葉社

「幸せとは何か」と問われた小学生の奈ノ花。3人の不思議な女性たちと交流しながら答えを探しますが…。何度も読み返したくなる一冊です。



麦本三歩の好きなもの

幻冬舎

主人公の何気ない日常を描いた一冊です。ささやかな幸せが詰まった彼女の何気ない日常をあなたものぞいてみませんか。

シリーズ



神様の御用人

既刊10巻

浅葉 なつ/著 KADOKAWA(メディアワークス文庫)

神様の願い事を叶える御用人に任命された良彦は、狐神の黄金と一緒に日本中を駆け巡る。人も神様も悩みは尽きないのです！



5分後に思わず涙。

既刊2巻

桃戸 ハル/編・著 田中 寛崇/絵 学研

涙にも色々な涙があります。感動の涙、やりきれない気持ちの涙…。ラストの逆転劇でどんな涙が待っているのでしょうか。30話から成る短編集。



ふしぎ駄菓子屋 銭天堂

既刊16巻

廣嶋 玲子/作 jyajya/絵 偕成社

店主の紅子は訪れた客の願いを察して、望みの駄菓子を勧めるが、食べ方や使用法を間違えると…。ちょっとリアルで怪しい世界です。



マスカレード・ホテル

既刊3巻

東野 圭吾/著 集英社

潜入調査の警察と一流ホテルマンが、連続殺人事件に挑む。「マスカレード・イブ」、「マスカレード・ナイト」と続く物語の展開は必見です。

ミステリー



ツナグ

辻村 深月/著 新潮社

死者と生者を再び会わせてくれる使者(ツナグ)。再会することで人生を再スタートしていく様子が繊細に描かれている。切なくも温かい物語。



本と鍵の季節

米澤 穂信/著 集英社

図書委員の高校生2人が主人公のミステリー小説。学校の図書室に持ちこまれた謎をどう解いていくのか。全6編を収録。

愛・青春



逆ソクラテス

伊坂 幸太郎/著 集英社

先入観や決めつけをしてくる大人に、「僕は、そうは、思わない」という強い思いで対抗する少年たち。読むと心が熱くなります。



風に恋う

額賀 滯/著 文藝春秋

中学でアルトサックスを演奏していた基は高校でも吹奏楽部に入部。1年生で部長に選ばれ全日本を目指すことになったが…。



桜のような僕の恋人

宇山 佳佑/著 集英社(集英社文庫)

恋人同士になるも彼女は何十倍もの早さで歳をとる難病を発症。そんな姿を彼に見せたくない彼女のとった行動は…。切なく哀しい物語。



西の魔女が死んだ

梨木 香歩/著 小学館

不登校になってしまった少女が、西の魔女(祖母)の家で魔女の修行をすることに。少女は魔女から生きる事の大切さを学び成長していく。



「未完成」なぼくらの、生徒会

麻希 一樹/著 KADOKAWA

新入生の葵は個性的なメンバー揃いの生徒会に入ることに。彼らは各々「苦い秘密」を抱えていて…。高校生の成長を描いた青春連作短編集。

twitterアカウント



石橋館
@ishibashi_lib



学び



インスタ映えする戦国時代

スエヒロ/著 大和書房

もしも戦国時代にスマホがあったら…武将たちはどんなSNSを活用し、どんな内容をUPするだろうか？くすっと笑える歴史の参考書です！



世界一かんたんに人を幸せにする食べ物、それはトースト

山口 繭子/著 サンマーク出版

365日食べても飽きない、10分で作れる至福のトーストレシピを118品掲載。トーストって楽しい！朝の楽しみが広がります。



栃木のトリセツ 地図で読み解く初耳秘話

昭文社旅行ガイドブック編集部/編 昭文社

栃木県の地形、地質、歴史、産業、文化など多彩な特徴と魅力を地図で紹介。知られているようで知られていない栃木県の意外な素顔に迫る。



不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ

おうちでできるお菓子と科学の実験レシピ
太田 さちか/著 momo編集部/編 マイルスタッフ

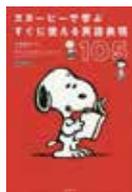
お家で実験？！科学の勉強をしながらスイーツが作れます。レシピにどうしてこうなるのか？などの、ポイント解説付きです。



はじめての文学 村上春樹

村上 春樹/著 文藝春秋

小説の面白さ、楽しさを味わうために、著者自身が用意したスペシャル・アンソロジー。初めての人も春樹ファンも欠かせない一冊。



スヌーピーで学ぶ すぐに使える英語表現105

小池 直己/著・訳 チャールズ M. シュルツ/作 祥伝社

アメリカの子どもたちの日常会話で書かれている4コマ漫画。すいすい読めるので英語を学びながら息抜きもできる素敵な一冊です。



世界を動かした塩の物語

マーク・カーランスキー/文 S.D.シンドラー/絵
遠藤 育枝/訳 BL出版

私たちの身近にある塩は、長い間世界を動かしてきた。太古からとても貴重だった塩の歴史について、分かりやすく描いた絵本。



イラストでわかる ニッポンのサイズ図鑑

石川 英輔/原作 淡交社編集部/編 淡交社

昔の日本人が使っていた長さ・面積・量・重さ・お金・時間の単位をイラストと雑学を交えてわかりやすく説明しています。



文房具語辞典

文房具にまつわる言葉をイラストと豆知識で
カリカリと読み解く

高畑 正幸/著 誠文堂新光社

三角定規の穴の理由は？初期の鉛筆は誰が持っていた？“ぬらぬら”とはどんな時に使う表現？文房具にまつわる言葉と豆知識を楽しく解説。



メートルくんとキログラムくんと単位の仲間たち

うえたに夫婦/著 国立研究開発法人産業技術総合研究所
計量標準総合センター/監修 大和書房

単位の歴史や科学技術の進歩、科学者たちの熱い想いを、キャラクター化した単位たちが真面目にわかりやすく紹介していきます。

ファンタジー



サブキャラたちの日本昔話

浦島太郎・桃太郎・金太郎

斉藤 洋/作 広瀬 瀧/絵 偕成社

「浦島太郎」「桃太郎」「金太郎」。誰もが知っているお話をサブキャラクターたちが語ります。そこから見えてくる物語の真実とは。



満月珈琲店

桜田 千尋/作・絵 望月麻衣/文 KADOKAWA

疲れた人の前に現れるトレーラーカフェ「満月珈琲店」。天体がモチーフのフードやドリンクの幻想的な美しさに目も心も癒されるはず。

自然



古生物食堂

土屋 健/著 黒丸/絵 松郷庵甚五郎二代目/料理監修
古生物食堂研究者チーム/生物監修 技術評論社

恐竜の肉は美味しいの？科学研究から古生物の味を予想し、多様な調理方法から料理する一冊。お気に入りの一品が見つかるかもかもしれません。



13歳からの環境問題

「気候正義」の声を上げ始めた若者たち

志葉 玲/著 かもがわ出版

昨今よく取り上げられる環境問題だが、現実には何が起きているのか。ニュースで聞くより、自分たちの身近な問題として感じられる本。



星を楽しむ星座の見つけかた

夜空にかがやく星の中から見たい星座をさがす

大野 裕明・榎本 司/著 誠文堂新光社

夜空に輝く星々の中から見たい星座を見つけるコツを紹介。1月から12月までの全天星図を掲載し、星の見方や楽しみ方を丁寧に解説。

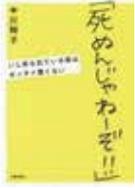


国分寺館
@kokubunji_lib

南河内館
@minami_lib



人生訓



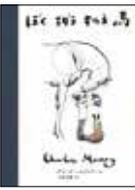
「死ぬんじゃねーぞ!!」
いじめられている君はセツタイ悪くない
中川 翔子/著 文藝春秋

いじめで不登校になり「死にたい夜」を過ごした経験を言葉と漫画で綴ったエッセイ。いじめに苦しむすべての人に贈る愛の言葉。



泣いたあとは、新しい靴をはこう。
10代のどうでもよくない悩みに作家が言葉で向き合ってみた

日本ペンクラブ/編 ポプラ社
体や心、人間関係、恋愛、家族、将来のこと。10代のどうでもよくない悩みに森絵都や俵万智など44人の作家が答えます。



ぼく モグラ キツネ 馬

チャーリー・マッケジー/著 川村 元気/訳 飛鳥新社
改めて気付くことの出来るグッとくる言葉と、モノトーンの絵を一緒に観ることで心に沁み込んでくるような…。そんな心暖まる一冊です。



副作用あります!? 人生おたすけ処方本
三宅 香帆/著 幻冬舎

悩んでいるあなたへ、ぴったりの本紹介します! 様々な悩みを、本を読むことでちょっぴり前向きにしてくれるガイドブックです。



部活をやめてもいいですか。

梅津 有希子/文 片塩 広子/絵 講談社
「好きで始めたことなのに、ツライ」と思ったことのある人におすすめです。「～しなきゃいけない」と思っていた心が、少し軽くなります。



本当の「頭のよさ」ってなんだろう?
勉強と人生に役立つ、一生使えるものの考え方

齋藤 孝/著 誠文堂新光社
人生で大切なことは何でしょうか。著者の考える「頭のよさ」が分かりやすく定義された、生きていく力を養うことのできる一冊。

生きるということ



こども六法
山崎 聡一郎/著 伊藤 ハムスター/絵 弘文堂

こどもに関係のある法律がわかりやすく書かれた一冊。自分自身や大切な人を守るためにも、知っておきたい法律が網羅されています。



天、共に在り
アフガニスタン三十年の闘い
中村 哲/著 NHK出版

アフガニスタンで支援活動を行った医師の中村哲さん。治療の為に赴いた土地でなぜ井戸を掘り、用水路を拓くことになったのか必見です。



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
ブレイディ みかこ/著 新潮社

優等生のぼくが通うことになったのは元底辺中学校。様々な問題や差別に悩みながらも、たくましく生きる姿を描くノンフィクション。



やがて海へと届く

彩瀬 まる/著 講談社
東日本大震災で大切なひとを失った人々の心情を描いた物語。悼み方は人それぞれですが、とても考えさせられる作品です。



朔と新
いとう みく/著 講談社

事故で視力を失った兄と、その原因が自分にあると責める弟。それぞれの思いを抱える2人をつないだのは、プラインドマラソンだった。



ぼくが見た太平洋戦争

宗田 理/著 PHP研究所
太平洋戦争の戦時下に学生だった著者が、戦争の恐ろしさや悲惨さ、生命の大切さを分かりやすい口調で語る戦争体験記。



水を縫う

寺地 はるな/著 集英社
「自分らしく」生きるということはどういうことなのか。手芸が好きな男子高校生・清澄や家族、それぞれの葛藤を描いた物語。



わたしが子どものころ戦争があった
児童文学者が語る現代史

野上 暁/編 神沢 利子 ほか/著 理論社
児童文学作家たちが、子どもの時に体験した戦争。何気ない日常から戦争へ移り変わる様子が、当時の子どもたちの視点で語られます。

- ★この「十代に贈る本」で紹介した本は、下野市立図書館(石橋館・国分寺館・南河内館)で所蔵しています。
- ★出版者、刊行形態が異なる形で所蔵されている場合もあります。
- ★貸出中の場合は、予約することができます。

おすすめ図書ガイド作成協力団体(敬称略): 石橋おはなし会(石橋)・お話ポケットの会(国分寺)
ほがらか文庫(国分寺)・むくの木(国分寺)・おはなしたんぼぼ(国分寺)
あめんぼう(南河内)・らこんて(南河内)・JLC(下野ジュニアリーダーズクラブ)